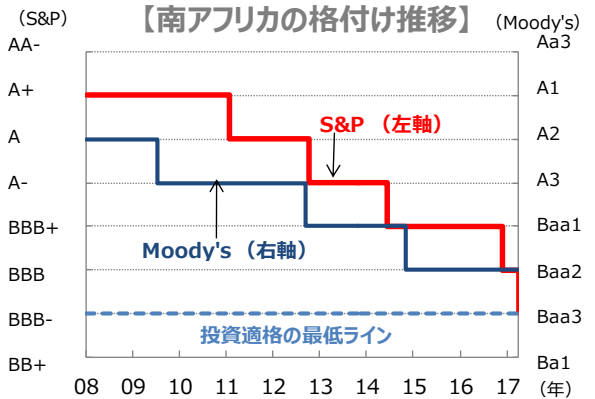


今日のトピック 南アフリカの格下げ (2017年4月)

S&Pが南アフリカの債務格付けを格下げ

ポイント1 外貨建て債務は投機的格付けに 自国通貨建ては投資適格に止まる

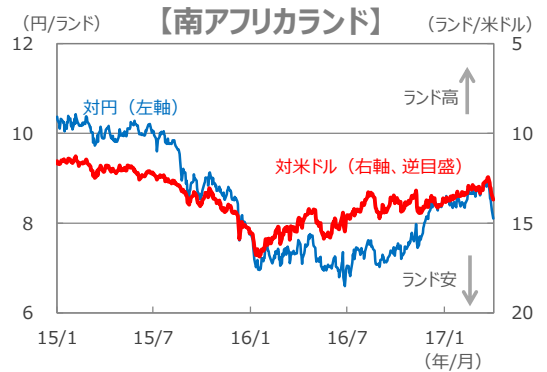
- 4月3日に米国の大手格付け会社であるスタンダード・amp;・プアーズ (以下、S&P) は、南アフリカの長期債務格付けを1ノッチ引き下げ、外貨建て債務の格付けは「BBB-」から「BB+」へ、自国通貨建て格付けは「BBB」から「BBB-」としました (今後の見通しは外貨、自国通貨ともにネガティブ)。これで、外貨建て債務の格付けは投資適格の地位を失い、投機的格付けとなりました。
- S&Pは、6月に南アフリカの債務格付けレビューを予定していましたが、今回はその約2カ月前での格下げとなりました。ズマ大統領は、3月30日に突然の内閣改造を行いました。その中で、財政健全化を主張し、市場からの信認が高かったゴードン財務相が更迭され、政局が一段と不安定になったとの判断が、格下げの主な理由です。



(注1) データは2008年1月1日~2017年4月3日。
(注2) 上記格付けは自国通貨建て。
(出所) Bloomberg L.P.を基に 三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 通貨は足元で下落 年明け以降、好調だった展開が反転

- 南アフリカの経常収支はここ数年改善傾向にあり、高金利も投資家の需要を高めてきました。
- ランドは、今年に入ってから堅調で、3月24日には年初来+10%近く上昇していましたが、4月3日時点でほぼ年初の水準まで下落しました。



(注) データは2015年1月1日~2017年4月3日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 南アフリカランドには一段の下落余地も

- 今回の出来事で、S&Pが更に格下げを行う可能性もあり、ムーディーズやフィッチなど、他の大手格付け会社も続いて格下げを行う公算が大きいと判断されます。
- 経常収支の改善や高金利としての魅力、資源価格の底入れなどは引き続きランドのプラス材料ですが、当面は今後の政局の動向や大手格付け会社による格下げがより意識され、ランドは神経質な展開となる可能性が高いと予想します。

ここもチェック! 2017年3月31日 南アフリカの金融政策 (2017年3月) 2017年3月22日 最近の新興国通貨の動向 (2017年3月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。